

◆ 国賠名 通行人乙の適正な裁判を求める国賠

原告	通行人乙
原告代理人	ナシ（本人訴訟）
被告	国（裁判官）
事件の概要	<p>1998年7月4日午前1時1分、信用情報開示拒否の理由を求めてN信販に滞留していた原告は、犯罪認識を持たない司法巡査に不退去罪の犯人として現行犯逮捕されました。その後、司法警察員による、犯罪事実の非告知・弁護人選任権の侵害等の不法行為を経て、同年7月15日まで留置場に監禁されました。</p> <p>1998年9月1日、この逮捕監禁処分と留置場の待遇を不当として損害賠償を求める裁判を起こしました。そして、1審・2審・3審と敗訴判決を受け、2000年10月27日確定しました。</p> <p>2001年1月19日、この判決が裁判官の経験則違背によるものとして損害賠償を求める裁判を起こしました。一審敗訴。</p>
結果	敗訴